

災害と文化財保存の歴史地理

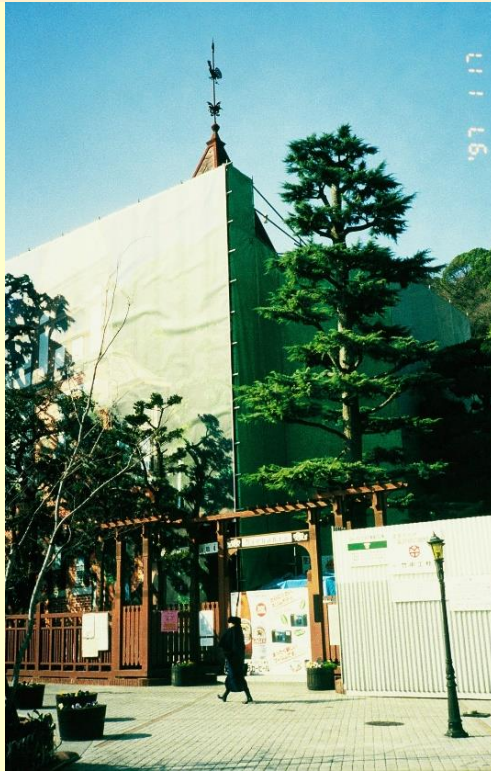
～阪神・淡路大震災 20 年を越えて～

神戸大学が保管している貴重な学術資料、および研究成果を学内外の方がたに広くご覧頂きたいと考え、サテライト巡回展を企画いたしました。関連する展示、ならびに諸施設とあわせ、是非、見学にいらして頂けますよう、ご案内申し上げます。

開催主旨および展示概要

2015年は阪神・淡路大震災から20年、2016年は東日本大震災から5年を迎えます。近年の研究により、列島周辺で東海、南海の他、東北や北海道沖でも巨大地震が発生し、数百～数千年単位で繰り返されるのが判明してきました。けれども研究成果が周知される前に、先の東北地方太平洋沖地震が発生し、大規模な津波が沿岸を襲いました。地理学の教育・研究に携わる私たちは、今回の地震防災への反省を肝に銘じるべきと考えています。

神戸大学地理学教室では、1995年に起きた兵庫県南部地震に改めて学び、災害・災厄という地理的事象について知見を深めたいと考えています。今回は「災害と文化財保存」のテーマで学生たちが行った調査、学習成果を紹介します。第一に歴史地震・災害研究に学び、貞観、安政地震といった事例から、近い将来起こりうる南海地震までを視野に入れました。第二に文化財の保存活用を取り上げました。災害では私たちの生活に加え、地域の歴史資料類も同様に被災し、それら文化財の復興や防災も無視できない点に着目しました。



神戸の異人館「風見鶏の館(旧トーマス住宅)」左1997年、右2015年

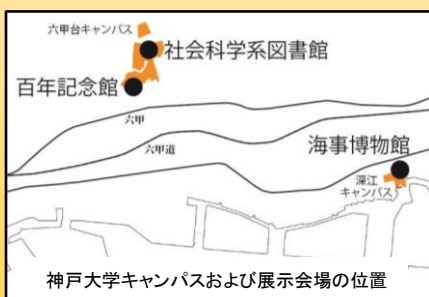
2016 2.1 (月) ⇒ 3.28 (月)

会場：神戸大学海事博物館
(〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1)
開館時間：月・水・金 13.30-16.00
主催：神戸大学人文学研究科・文学部地理学教室
(問合せ：mkikuchi@lit.kobe-u.ac.jp)
※展示内容は一部変更となる場合があります

<参考> 神戸大学2015年度企画展およびサテライト巡回展 (*は巡回展)

海事博物館会場 (深江キャンパス、開館時間：月・水・金 13.30-16.00)

- 「大戦中の日本商船、船員の姿」 2015 7.17 (金) - 10.30 (金)
- 「戦時下の神戸大学～戦後70年記念～」* 2015 11.25 (水) - 12.16 (水)
- 「災害と文化財保存の歴史地理～阪神・淡路大震災20年を越えて～」* 2016 2.1 (月) - 3.28 (月)



百年記念館会場 (六甲台第2キャンパス、開館時間：月～金 9.30-17.00)

- 「誓子・波津女・実花 三人展～妻と妹と～」 2015 10.5 (月) - 10.16 (金) (会期中無休)
- 「戦時下の神戸大学～戦後70年記念～」 2015 10.26 (月) - 11.6 (金) (会期中無休)
- 「大戦中の日本商船、船員の姿」* 2015 11.11 (水) - 12.25 (金)

社会科学系図書館会場 (六甲台第1キャンパス、開館時間：月～金 9.30-17.00 土日 10.00-19.00)

- 「資料展 村上家文書の世界～近世×神戸×農村～」 2015 10.1 (木) - 12.15 (火)
- 「阪神・淡路大震災関連展示(仮)」 2016 1.12 (火) - 1.26 (火)
- 「戦時下の神戸大学～戦後70年記念～」* 2016 2.1 (月) - 2.26 (金)
- 「大戦中の日本商船、船員の姿」* 2016 3.4 (金) - 3.28 (月)